



やの しょうぞう
矢野 昭三 議員

事前復興まちづくり計画

土地利用等の内容は 協議中結論が出ていない

一般質問 町政を 問う!!

問 土佐西南大規模公園佐賀東地区の買収した土地が塩漬けになっている。この土地を運動広場の嵩上に活用すれば平時においては運動施設、非常時には避難場所として活用できる。姿勢を問う。

答 大西町長
塩漬けになっている買収した土地と言うのは、公園の用に供する為に県が買収した土地とのご指摘であろうかと思えます。県が買収している用地を如何様に活用するのかと言うのは、実施者は県になりますので黒潮町がと言う事はなかなか答弁し辛い。東公園の利活用をどのような形にするか現段階それから被災後の迅速な復旧、復興。このバランスを取った時に一番望ましいかという結論が出ている訳ではない。結論を得たうえで指摘のように復興に着手する前の段階においては嵩上をし、避難場所として

問 食べ物等の対策
人間の食べ物、米、野菜、果実等が鳥獣による
現行制度の見直しは
個別の検討を進める



背後の県所有地の土を運動場へ投入嵩上し津波避難場所にも活用

活用することが有効であるという結論を得たならば県の方には、しっかりと要望させて頂きます。

答 大西町長
昨年度カラス、猪、鹿、ハクビシン等による被害面積278アール被害数量3万727キロ 金額884万6千円。被害数量1・8倍 金額2・4倍と大幅に増加をしている。このような被害の要因として温暖化の影響による猪等の生育環境に適していた事が個体数の増加に繋がっている。町としては、耕作意欲を失いかねない田畑での鳥獣被害の影響は十分に承知しており引き続き鳥獣捕獲に携わる皆様や猟友会の方々との情報共有を密にとり、現行制度の不備な点や改善点について個別の検討を進めてまいります。

被害が発生している。このままでは、耕作意欲が喪失し食べ物不足等の深刻な事態が予想される。現行制度を見直す等の対策を問う。

【その他の質問】
巨大地震警戒について



猪に食い荒らされた水田